



6年生を送る会より

## 平成26年度後期学校評価の結果

1月28日～2月5日に実施いたしました、学校評価の結果についてご報告いたします。(回答率76%) ※pts(ポイント)…昨年度の%値との比較

### 児童アンケートより

「学校・クラスは楽しい」のA+B評価は92%と、前期を1pts上回り、多くの児童が学校生活を楽しく過ごしている様子が伺えます。人の気持ちを大切にすることも前期同様の割合です。

「掃除や片付けなど、学校をきれいにしようとしていますか」という設問を、後期は「教室はいつもきれいに片付いていますか」と、実態を問うものになりました。豊かな心の育成の項の改善策として、教室環境を整え、児童が落ち着いて過ごせるようにしていくという取組に対する評価を調べるようにしました。設問が異なるため、直接の比較はできませんが、前期に比べて9pts減と大きくさがりました。教室環境の整備は、児童が落ち着いて力を発揮する場を整える意味で、今後も引き続き意識して取り組んでいく必要があると考えています。



教室環境を美しく整える

#### 【アンケートの見方】

A評価	B評価	C評価	D評価
そう よく 思う	だ い た い そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
← A+B評価 出来ている寄りの評価		C+D評価 出来ていない寄りの評価 →	

	A+B	C+D
学校・クラスは楽しい	児童 92	8
人の気持ちを大切に	児童 95	5
教室はいつも片付いている	児童 84	16

### 確かな学力の育成

#### ◆前期結果を受けた改善策◆

自学自習…意欲をもちにくい児童について、家庭での学習を学校で模擬的にするなど個別指導を行う。

授業改善…課題把握をしっかりとするようにし、自分の考えをしっかりとつようにして、それを表現する場をどの児童にも保障するようにする。

また、学年に応じて、表現の仕方を身につけるようにする。

自学自習についての評価はほとんど変わらず「自分の考えを言う」は、保3pts・児2pts↑

自学自習の習慣については、保護者のA+B評価が前期比1ptsあがり、児童のA+B評価が同2ptsさがり、ほとんど評価が変わりませんでした。1/4の保護者・児童が自学自習の習慣がしっかりとついていないと感じています。今後も取組を続けていきます。

「自分の考えを言う」「自分の考えをもつ」については、いずれも2～4pts評価があがっています。ただ、こちらも約3割はしっかりとできていないという評価です。今後も、児童の実態にあわせて、学習の中で自分の考えを表現する場を取り入れていきます。

### 確かな学力

	A+B	C+D
自学自習の習慣	児童 76	24
	保護者 76	24
	教職員 81	19
基礎基本の学力	児童 94	6
	保護者 88	12
	教職員 94	6
人の話を聞く	児童 92	8
	保護者 78	22
	教職員 81	19
自分の考えをもつ	児童	
	保護者 87	13
	教職員 88	12
自分の考えを言う	児童 69	31
	保護者 72	28
	教職員 56	44
読書の習慣	児童 86	14
	保護者 68	32
	教職員 100	0



作った新聞を友達と読む